

特許協力条約

PCT

国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条)

[PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 GAK1701	今後の手続については、様式PCT/ISA/220 及び下記5を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2018/020333	国際出願日 (日.月.年) 28.05.2018	優先日 (日.月.年) 09.06.2017
出願人(氏名又は名称) 旭興産株式会社		

国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。
この写しは国際事務局にも送付される。

この国際調査報告は、全部で 5 ページである。

この国際調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。

1. 国際調査報告の基礎

a. 言語に関し、この国際調査は以下のものに基づき行った。

出願時の言語による国際出願

出願時の言語から国際調査のための言語である _____ 語に翻訳された、
この国際出願の翻訳文(PCT規則12.3(a)及び23.1(b))

b. この国際調査報告は、PCT規則91の規定により国際調査機関が許可した又は国際調査機関に通知された明らかな誤りの訂正を考慮して作成した(PCT規則43.6の2(a))。

c. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第I欄参照)。

2. 請求の範囲の一部の調査ができない(第II欄参照)。

3. 発明の単一性が欠如している(第III欄参照)。

4. 発明の名称は 出願人が提出したものを承認する。

次に示すように国際調査機関が作成した。

5. 要約は 出願人が提出したものを承認する。

第IV欄に示されているように、法施行規則第47条第1項(PCT規則38.2)の規定により国際調査機関が作成した。出願人は、この国際調査報告の発送の日から1月以内にこの国際調査機関に意見を提出することができる。

6. 図面に関して

a. 要約とともに公表される図は、

第 1 図とする。 出願人が示したとおりである。

出願人は図を示さなかったため、国際調査機関が選択した。

本図は発明の特徴を一層よく表しているため、国際調査機関が選択した。

b. 要約とともに公表される図はない。

第 I 欄 ヌクレオチド又はアミノ酸配列 (第 1 ページの 1. c の続き)

1. この国際出願で開示されたヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下の配列表に基づき国際調査を行った。
- a. 出願時における国際出願の一部を構成する配列表
 - 附属書C/ST.25テキストファイル形式
 - 紙形式又はイメージファイル形式
 - b. 国際出願とともに、PCT規則13の3.1(a)に基づき国際調査のためにのみ提出された、附属書C/ST.25テキストファイル形式の配列表
 - c. 国際出願日後に、国際調査のためにのみ提出された配列表
 - 附属書C/ST.25テキストファイル形式(PCT規則13の3.1(a))
 - 紙形式又はイメージファイル形式(PCT規則13の3.1(b)及びPCT実施細則第713号)
2. さらに、複数の版の配列表又は配列表の写しが提出され、変更後の配列表又は追加の写しに記載された情報が、出願時における配列表と同一である旨、又は出願時における国際出願の開示の範囲を超えない旨の陳述書の提出があった。
3. 補足意見：

<p>A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))</p> <p>Int.Cl. C12N1/20(2006.01)i, A23K10/16(2016.01)i, A23K20/163(2016.01)i, A23L33/135(2016.01)i, A61K8/99(2017.01)i, A61K35/747(2015.01)i, A61P1/16(2006.01)i, A61P37/08(2006.01)i, C12P19/04(2006.01)n, C12P19/28(2006.01)n</p>			
<p>B. 調査を行った分野</p> <p>調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))</p> <p>Int.Cl. C12N1/20, A23K10/16, A23K20/163, A23L33/135, A61K8/99, A61K35/747, A61P1/16, A61P37/08, C12P19/04, C12P19/28</p>			
<p>最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの</p> <p>日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2018年 日本国実用新案登録公報 1996-2018年 日本国登録実用新案公報 1994-2018年</p>			
<p>国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)</p> <p>JSTPlus/JMEDPlus/JST7580 (JDreamIII), Cplus/REGISTRY (STN), MEDLINE/BIOSIS/EMBASE/WPIDS/WPIX (STN), GenBank/EMBL/DDBJ/GeneSeq</p>			
<p>C. 関連すると認められる文献</p>			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号	
X Y	Database DDBJ/EMBL/GenBank [online], Accession No. CP007122.1, < https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nucore/CP007122.1?from=1960345&to=1961923&report=gbwithparts&strand=2 >, 01.10, 2014 uploaded [retrieved on 20.07.2018], WANG, S., et al., Definition: Lactobacillus paracasei N1115, complete genome. 「DEFINITION」, 「FEATURES」, 「ORIGIN」の項	1-6 7-15	
<p><input checked="" type="checkbox"/> C欄の続きにも文献が列挙されている。</p>		<p><input type="checkbox"/> パテントファミリーに関する別紙を参照。</p>	
<p>* 引用文献のカテゴリー</p> <p>「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願</p>		<p>の日の後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」同一パテントファミリー文献</p>	
<p>国際調査を完了した日</p> <p>02.08.2018</p>		<p>国際調査報告の発送日</p> <p>14.08.2018</p>	
<p>国際調査機関の名称及びあて先</p> <p>日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号</p>		<p>特許庁審査官 (権限のある職員)</p> <p>藤澤 雅樹</p>	<p>4 B 5802</p>
		<p>電話番号 03-3581-1101 内線 3448</p>	

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2011-517570 A (コンパニ・ジェルベ・ダノン) 2011.06.16, 特許請求の範囲 & US 2011/0150852 A1, 特許請求の範囲 & EP 2271744 A1 & WO 2009/130423 A2	7-15
Y	JP 2014-516589 A (エイチ・ジェイ・ハインツ カンパニー) 2014.07.17, 特許請求の範囲 & US 2014/0377238 A1, 特許請求の範囲 & EP 2734049 A1 & WO 2012/177556 A2	7-15
Y	JP 2015-519042 A (セーホーエル・ハンセン アクティーゼルスカブ) 2015.07.09, 特許請求の範囲 & US 2015/0064152 A1, 特許請求の範囲 & EP 2836588 A1 & WO 2012/136830 A1	7-15
Y	JP 2016-37451 A (大高酵素株式会社) 2016.03.22, 特許請求の範囲 (ファミリーなし)	7-15
Y	KANG, H. et al., Exopolysaccharide-overproducing <i>Lactobacillus paracasei</i> KB28 induces cytokines in mouse peritoneal macrophages via modulation of NF- κ B and MAPKs, <i>J. Microbiol. Biotechnol.</i> (2011) Vol.21, No.11, pp.1174-1178 第 1174 頁要約, 第 1176 頁図 1	13
Y	PANTHAVEE, W. et al., Characterization of exopolysaccharides produced by thermophilic lactic acid bacteria isolated from tropical fruits of Thailand, <i>Biol. Pharm. Bull.</i> (2017) Vol.40, pp.621-629 第 621 頁要約	13
Y	JP 2011-142907 A (リトーン・エンタープライズ・ インコーポレイテッド) 2011.07.28, 特許請求の範囲 & US 2011/0150838 A1, 特許請求の範囲 & EP 2338977 A1 & WO 2011/076007 A1	14

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2015-525780 A (ライフ ウェル リブド リミテッド ライアビリティ カンパニー) 2015.09.07, 特許請求の範囲, 【0040】 & US 2014/0050702 A1, 特許請求の範囲, [0054] & EP 2879686 A1 & WO 2014/022279 A1	15
P, X	NODA, M. et al., A novel structure of exopolysaccharide produced by a plant-derived lactic acid bacterium <i>Lactobacillus paracasei</i> IJH-SONE68, J. Biochem. (2018) Vol.164, No.2, pp.87-92 第87頁要約, 第88頁図1, 第89頁図2, 第90頁表3	1-15